

女性活躍推進に向けた取り組み

当社ではこれまで、従業員一人ひとりが性別などに関わらず、働きやすくやりがいのある職場を目指すという観点から、各種制度の整備を進めてきました。今後、お客さまに必要とされる商品・サービスを提供し、また、企業グループとして持続的に成長していくために、これまで以上に、男性のみならず女性の視点を取り入れた企業経営が必要であると認識しています。積極的な採用、職域の拡大、キャリア形成支援およびそれらを支える環境整備など、女性の活躍推進に向けた取り組みを進めていきます。

「収益UP↑アイデアボックス」

京阪グループで働くすべての社員が、グループの発展のためにポジションや担当業務を越えて、前向きにアイデアを発信・交流できる本制度を平成27年より導入し、グループ収益につながるアイデアの発掘と、全員でグループの発展を考える“ポジティブで風通しのいい”社風の醸成を目指しています。

単にアイデアを発信するだけではなく、関係する部門が内容を検討のうえ回答を作るとともに、他の社員がコメントを寄せたりと、グループ全体でアイデアを共有できる仕組みとしています。

安全衛生に関する取り組み

労働安全衛生の基本理念

京阪電気鉄道(株)では、お客さまの安全確保と質の高いサービスを提供するため、従業員に災害や事故がなく、健康で明るく働くことを第一歩と考え、労働安全衛生に関する基本理念を設け、安全衛生文化の定着に努めています。

労働災害防止対策

自損による労働災害のほとんどがヒューマンエラーによるものです。これを防止するため、京阪電気鉄道(株)では、災害発生原因の徹底調査、同業他社との情報交換などを行うとともに、定期的に職場の安全衛生巡視を実施し、安全活動の向上を図っています。一方、酩酊旅客による暴力行為(第三者行為)災害の防止対策として、ポスターによる啓発活動や主要駅における警備員の配置などの取り組みを強化しています。

◆労働災害発生件数(京阪電気鉄道(株)) (年度)

災害の種別	H26	H27	H28
業務上	20(10)	11(4)	16(4)
通勤	7(1)	8(4)	7(5)

()内は第三者行為による災害

社員安全衛生教育

京阪電気鉄道(株)では、災害や事故がなく、健康で明るく働ける職場を形成するため、安全衛生に関する「しおり」の配布や各種研修会を計画的に開催しています。そのひとつに危険予知訓練(KYT)トレーナー研修会があります。

この研修会では、安全活動の中核的な役割を担い、職場に潜む危険を解決していくことのできる人材の育成を目指しています。

従業員の健康への配慮

当社および京阪電気鉄道(株)では、従業員の心身にわたる健康の保持・増進を図るため、産業医や産業保健スタッフが中心となって、保健指導や健康管理基準に基づいた健康診断を行っています。また、長時間労働者への面接指導や、受動喫煙防止対策も兼ねた禁煙活動・禁煙指導なども行い、疾病の早期発見と予防に努めています。

メンタルヘルスの取り組みでは、第三者機関の相談窓口(3施設)を利用できる体制に加えて社内規則を整備し、円滑な職場復帰を支援しています。

また、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施体制を整備し、当社および京阪電気鉄道(株)を含むグループ21社で一体的に実施し、メンタルヘルス不調未然防止や職場環境の改善に取り組んでいます。

